

第24回理事会議事録

一般社団法人日本ねじ工業協会

開催日時：2019年3月14日（木）15：00～16：00

開催場所：東京「機械振興会館」地下3階「研修一1」会議室

現在の理事数 10名

出席した理事数 8名

現在の監事数 2名

出席した監事数 1名

（順不同、敬称略）

○理事出席（8名）

代表理事	椿 省 一 郎	株式会社互省製作所
理 事	佐 藤 義 則	株式会社サトーラシ
”	大 川 克 良	大川精螺工業株式会社
”	高 須 俊 行	富士セイラ株式会社
”	藤 田 守 彦	藤田螺子工業株式会社
”	後 藤 晴 雄	株式会社朝日押捻子製作所
”	檜 本 隆 之	株式会社三和鋲螺製作所
業務執行理事	大 磯 義 和	一般社団法人日本ねじ工業協会

○監事出席（1名）

後 関 満 之	株式会社後関製作所
---------	-----------

○理事欠席（2名）

理 事	長 谷 川 裕 恭	株式会社メイドー
”	嶋 田 守	株式会社フセラシ

○監事欠席（1名）

池 田 裕 之	池田金属株式会社
---------	----------

○議 題

1. 第7回社員総会付議案件について
 - (1) 2019年度事業計画案について
 - (2) 2019年度収支予算案について
 - (3) 次期理事及び監事候補選任案について
2. 執行役員候補案について
3. 五地域ねじ協会交流大会からの脱会について

◎報告事項

- ①外国人材受け入れについて
- ②日独交流について
- ③前回理事会以降の会合開催状況及び今後の予定について

○議 事

専務理事が定数を確認し、理事本人出席 8 名で本理事会が有効に成立している旨を報告し、会長より開会の挨拶があった。

その後、経済産業省 製造産業局 産業機械課 渡部係長から 2019 年 4 月 1 日から開始される外国人材の受入れについての説明があった。

議長より議事録署名人として後関監事及び大磯専務理事を指名し、議事に入った。

議題 1 第 7 回社員総会付議案件について

(1) 2019 年度事業計画案について

2019 年度事業計画案を資料 1-1 に基づき説明を行った。

①政策委員会では、協会全体の事業の推進、管理及び統括を行う。

協会重点事業は以下の通りと専務理事より説明。

- A. ねじ製造技能検定の厚生労働省の認定を目指した協会認定制度の事業
- B. 未来開発パブリシティ委員会事業
- C. JIS 普及促進等を通じた技術振興事業
- D. 五地域ねじ協会交流大会脱会への対応と海外ねじ業界との交流事業
- E. 協会創立 60 周年記念事業
- F. 人材に関する事業

②未来開発パブリシティ委員会

主要な 2 つの事業を紹介。1 つは 7 月 31 日から 8 月 3 日まで開催される「プレス・板金・フォーミング展」への出展を企画し、応募のあった会員 3 社の展示を行う。

2 つ目は 2020 年に迎える協会創立 60 周年記念事業の企画検討及び運営管理体制の検討を行うと藤田委員長より説明した。

③資格委員会

ねじ製造技能検定制度のレベル向上など更なる拡充と検定試験のハンドブックの改定を検討する。またねじ製造技能検定試験の実機を用いた実技試験体制の構築を引き続き検討すると佐藤委員長より説明した。

④技術委員会

JIS 本体規格品の普及推進活動、技術講習会、ねじ関係の材料研究事業、圧造技術スクール他前年同様の事業を行うと専務理事より説明した。

⑤国際委員会

大川委員長より以下の通り説明を行った。

交流大会からの脱会については、本来理事会及び執行役員会で可否について諮ってから結論とすべきところ、脱会が決定したような表現でお知らせした点についてお詫びがあった。

今回交流大会脱会の可否について問うことになった経緯は、「工場見学などもなく、成果のある行事がなくなってきており、参加者も減り、参加するメリットがない」との声が寄せられたためである。

そのため政策委員会で審議を重ね脱会の意向で一致したが、執行役員の意見を聞くべ

く脱会の可否についてアンケートを行ったところ、66 名中 50 名が脱会に賛成であった。参加地域の中で交流の長い台湾と韓国には、出向いて直接日本の脱会の意向を説明する予定にしている。この後の審議において脱会の可否を諮りたいと説明した。

⑥取引委員会

ねじ産業における取引の適正化、適正取引のための自主行動計画のフォローアップ、最近深刻化している材料不足問題なども検討したいと専務理事より説明した。

⑦人材委員会

人材不足が深刻化しており、新しい外国人材受け入れ制度への対応を検討する委員会を考えていたが、委員会を新設せず政策委員会内で対応することに変更すると専務理事より説明を行った。

他に 2 つの部会と組織強化事業の計画内容を説明した。

(2) 2019 年度収支予算案について

専務理事より資料 1-2 により、今期の収入と事業計画をもとにした支出計画を説明した。

なお 2019 年度の予算は、5 月 16 日開催の社員総会で議決・成立となるため、新年度開始の 4 月 1 日から社員総会までの約 2 ヶ月間の予算及びその執行については、定款の規程に従い、前年度の予算執行の例により執行すると説明した。

(3) 次期理事及び監事候補選任案について

専務理事より現理事及び監事の任期が 2019 年 5 月 16 日開催の社員総会終結時までとなるため、資料 1-3 に記載の次期理事及び監事候補が各支部の役員選考委員会により選任されているため、審議願いたいと説明した。

議長は、議題 1 の 3 案件について第 7 回社員総会に付議すること及び議題 3 の国際委員会事業である「五地域ねじ協会交流大会からの脱会について（資料 3）」を、議場に諮った結果、異議なく承認された。

また 2018 年度事業報告及び決算案は、4 月中に書面により審議願う予定にしていると報告した。

議題 2 執行役員候補案について

専務理事より、現執行役員の任期も 2019 年 5 月 16 日開催の社員総会終結時までとなるため、資料 2 に記載の次期執行役員候補が各支部の役員選考委員会により選任されているため、審議願いたいと説明した。

議長が議場に諮ったところ承認された。

○報告事項

専務理事より資料 3-2 の製造業における外国人材の受入れについては、冒頭経済産業省の渡部係長より説明があったため省略とした。

資料 3-3 日独交流について

2016 年よりドイツねじ協会との交流を開始し、2019 年度は当会がドイツを訪問し交流する年である。相互に関心のある事項について意見交換を含めた交流を持ちたいと説明した。

資料 3-4 では、主に今後の予定等について報告を行った。

以上で議事の全てを終了し、16：00 に閉会した。

以上の議決を明確にするため本議事録を作成し、議長及び議事録署名人がこれに押印する。

2019 年 3 月 14 日

一般社団法人日本ねじ工業協会

会 長 椿 省 一 郎



議事録署名人 大 磯 義 和



議事録署名人 後 関 満 之

